

第97回日本学生選手権水泳競技大会 in東京辰巳国際水泳場(50M) 結果ご報告



団体の総合順位

男子 **63.0点/14位**

女子 **87.0点/12位**



リレーの成績

男子400mフリーリレー	武田 弥己	50-32	
	猿山 翔太	50-85	
	尾脇 璃音	49-72	
	本田 海雅	49-48	
		3-20-37	予選5位
	武田 弥己	49-96	
	猿山 翔太	50-57	
	尾脇 璃音	50-15	
	本田 海雅	49-28	
		3-19-96	決勝6位
男子800mフリーリレー	岡本 大雅	1-52-94	
	佐々木 善健	1-51-61	
	尾脇 璃音	1-52-32	
	武田 弥己	1-50-41	
		7-27-34	予選13位
男子400mメドレーリレー	河南 晟	58-65	
	下野 友寛	1-02-58	
	峰尾 迅	54-43	
	原 大地	51-27	
		3-46-93	予選22位
女子400mフリーリレー	渡会 円香	57-15	
	林 希菜	57-33	
	山本 美杏	58-65	
	國友 芙緒	58-14	
		3-51-27	予選12位
女子800mフリーリレー	林 希菜	2-03-88	
	渡会 円香	2-07-25	
	國友 芙緒	2-08-29	
	山本 美杏	2-04-82	
		8-24-24	予選14位
女子400mメドレーリレー	渡会 円香	1-02-91	
	橋本 萌夏	1-12-65	
	林 希菜	59-26	
	國友 芙緒	58-05	
		4-12-87	予選13位



個人の成績

男子50mフリー	本田 海雅	23-01	予選15位
	猿山 翔太	22-80	予選5位
		22-79	決勝6位
男子100mフリー	武田 弥己	50-25	予選12位
	尾脇 璃音	50-83	予選25位
	本田 海雅	50-56	予選19位
男子200mフリー	佐々木 善健	1-52-66	予選29位
	武田 弥己	1-50-77	予選15位
	岡本 大雅	1-52-82	予選31位
男子200mバタフライ	十亀 正暉	1-59-44	予選10位
男子100m平泳ぎ	雲井 銀河	1-04-28	予選48位
男子200m平泳ぎ	雲井 銀河	2-21-57	予選47位
	下野 友寛	2-16-21	予選37位
女子50mフリー	國友 芙緒	26-64	予選25位
女子100mバタフライ	林 希菜	59-83	予選6位
		59-36	決勝5位
女子200mバタフライ	林 希菜	2-07-27	予選1位
		2-06-91	決勝1位
女子100m背泳ぎ	渡会 円香	1-01-86	予選1位
		1-01-86	決勝4位
女子200m背泳ぎ	渡会 円香	2-13-95	予選6位
		2-14-35	決勝5位
女子200m個人メドレー	國友 芙緒	2-22-12	予選26位



林 希菜
(200mバタフライ)



林 希菜
(100mバタフライ)



渡会 円香
(100m背泳ぎ)



渡会 円香
(200m背泳ぎ)



猿山 翔太
(50m自由形)



**武田 弥己・猿山 翔太
尾脇 璃音・本田 海雅**
(400mフリーリレー)



姫野 裕子

**シーズン
振り返って**
同志社大学体育会水泳部
強化スタッフ

4月より同志社大学水泳部で指導を始め、早々にコロナウィルスの感染者が出るという始まりはありました。約1か月の活動停止期間があったにも関わらず、選手たちの淡々と自分のやるべき事をそれぞれが真剣に取り組み姿勢に頭が下がる思いでした。

活動停止期間中はOB・OGの皆様方には大変ご支援を頂きました。この場をお借りして感謝申し上げます。

幸いにも昨シーズンから数回では

回生の渡会円香も自己ベストを更新しての2種目での入賞と女子の活躍もチームを盛り上げる要因の一つではありました。男子400mリレーでの入賞や武田弥己の49秒台を筆頭に、4回生の全員が死力を尽くし頑張ってくれたことで全体的に最終日までよい雰囲気であったと感じます。残念ながら目標としてはいたるが、今後は一人ひとりが力を付けることにより確実に目標へ近づくといい手応えをそれぞれが感じたのではないのでしょうか。

また、最後になりましたが、会場の外で学生たちに常に



この度、水泳部の副将を務めさせて頂くことになりました。3回生の尾脇璃音です。副将としてチーム全体を俯瞰し、皆が思い切った水泳に打ち込むことが出来るような環境をつくっていきたくと考えています。

個人的な話にはなりますが、私は入学当初、100m自由形から53秒、200m自由形は1:57秒の選手でした。そんな選手でもインカレのA決勝に残るんだというのを見せたいという思いが、あります。逞しい背中、張れる存在になれるよう、残り1年を切った水泳人生を全力で泳ぎ抜きたいと思っています。

今年のチーム目標は昨シーズンと同様にインカレシード権獲得にありました。2015年以来達成することが出来ていないこの目標ですが、今年こそは達成してみせたいという思いを全員が強く持ち、新シーズンをスタートさせていきます。

この目標の達成には、150点以上の獲得が必須条件となると予想されます。可能性だけで



この度、同志社大学水泳部2021〜2022シーズンの主将を務めさせて頂いた本田海雅です。よろしくお願いたします。



本田 海雅
主将

98代目ということでは、長い歴史・伝統のあるチームの主将として責任を担って1年間頑張ってきたと思います。

そして、保護者の皆様、OB・OGの方々、スタッフの方々ははじめとするDUSS関係者の皆様のおかげで恵まれた環境で泳ぎ、その再確認し、精一杯精進していきたく感じております。

さて、新シーズンも不自由なく始まり、来年度のインカレに向かって強化

を進めています。チーム目標は男女共に「シード権獲得と設定したい」でした。昨年男子はこの目標でインカレを闘いましたが、結果は14位と個人、チーム両方で力不足を痛感することになりました。ですが、まだ諦めていません。1人1人がチームの一員という自覚を持ち、本気で取り組み、可能だということもわかりました。小さい希望ですが達成価値のある目標だと感じています。そのためにも個人の競技レベルはもちろんのこと、チーム力というのも重要になってくると感じています。練習では陸上・水中ともチーム全員で行う取り組みを多くし

ました。そこではチームのあり方というものを身につけていきたいです。

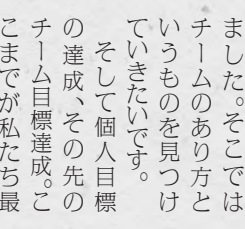
そして個人目標の達成、その先のチーム目標達成。ここまですべてが私たちに最上回生の役割だと感じています。「背中」で語ることになった。3回生の尾脇璃音です。副将としてチーム全体を俯瞰し、皆が思い切った水泳に打ち込むことが出来るような環境をつくっていきたくと考えています。

個人的な話にはなりますが、私は入学当初、100m自由形から53秒、200m自由形は1:57秒の選手でした。そんな選手でもインカレのA決勝に残るんだというのを見せたいという思いが、あります。逞しい背中、張れる存在になれるよう、残り1年を切った水泳人生を全力で泳ぎ抜きたいと思っています。

今年のチーム目標は昨シーズンと同様にインカレシード権獲得にありました。2015年以来達成することが出来ていないこの目標ですが、今年こそは達成してみせたいという思いを全員が強く持ち、新シーズンをスタートさせていきます。

この目標の達成には、150点以上の獲得が必須条件となると予想されます。可能性だけで

を進めています。チーム目標は男女共に「シード権獲得と設定したい」でした。昨年男子はこの目標でインカレを闘いましたが、結果は14位と個人、チーム両方で力不足を痛感することになりました。ですが、まだ諦めていません。1人1人がチームの一員という自覚を持ち、本気で取り組み、可能だということもわかりました。小さい希望ですが達成価値のある目標だと感じています。そのためにも個人の競技レベルはもちろんのこと、チーム力というのも重要になってくると感じています。練習では陸上・水中ともチーム全員で行う取り組みを多くし



この度、水泳部の副将を務めさせて頂くことになりました。3回生の尾脇璃音です。副将としてチーム全体を俯瞰し、皆が思い切った水泳に打ち込むことが出来るような環境をつくっていきたくと考えています。

個人的な話にはなりますが、私は入学当初、100m自由形から53秒、200m自由形は1:57秒の選手でした。そんな選手でもインカレのA決勝に残るんだというのを見せたいという思いが、あります。逞しい背中、張れる存在になれるよう、残り1年を切った水泳人生を全力で泳ぎ抜きたいと思っています。

今年のチーム目標は昨シーズンと同様にインカレシード権獲得にありました。2015年以来達成することが出来ていないこの目標ですが、今年こそは達成してみせたいという思いを全員が強く持ち、新シーズンをスタートさせていきます。

この目標の達成には、150点以上の獲得が必須条件となると予想されます。可能性だけで

言う、かなり厳しい話ではあると思いますが。しかし不可能ではありません。昨年、1月1日にも忘れずに取り組んでくれた奴が勝つという言葉があるように、言葉の意味で水泳に懸けることが出来れば、1年後に同志社大学の生まれ変わった姿を見せたいと思います。約1年後のインカレに向けて、チーム一丸となって進んでいきたいと思ひます。約1年後のインカレに向けて、チーム一丸となって進んでいきたいと思ひます。約1年後のインカレに向けて、チーム一丸となって進んでいきたいと思ひます。

この度、水泳部の副将を務めさせて頂くことになりました。3回生の尾脇璃音です。副将としてチーム全体を俯瞰し、皆が思い切った水泳に打ち込むことが出来るような環境をつくっていきたくと考えています。

個人的な話にはなりますが、私は入学当初、100m自由形から53秒、200m自由形は1:57秒の選手でした。そんな選手でもインカレのA決勝に残るんだというのを見せたいという思いが、あります。逞しい背中、張れる存在になれるよう、残り1年を切った水泳人生を全力で泳ぎ抜きたいと思っています。

今年のチーム目標は昨シーズンと同様にインカレシード権獲得にありました。2015年以来達成することが出来ていないこの目標ですが、今年こそは達成してみせたいという思いを全員が強く持ち、新シーズンをスタートさせていきます。

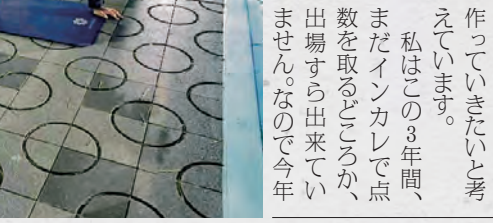
この目標の達成には、150点以上の獲得が必須条件となると予想されます。可能性だけで

この度、水泳部の副将を務めさせて頂くことになりました。3回生の尾脇璃音です。副将としてチーム全体を俯瞰し、皆が思い切った水泳に打ち込むことが出来るような環境をつくっていきたくと考えています。

個人的な話にはなりますが、私は入学当初、100m自由形から53秒、200m自由形は1:57秒の選手でした。そんな選手でもインカレのA決勝に残るんだというのを見せたいという思いが、あります。逞しい背中、張れる存在になれるよう、残り1年を切った水泳人生を全力で泳ぎ抜きたいと思っています。

今年のチーム目標は昨シーズンと同様にインカレシード権獲得にありました。2015年以来達成することが出来ていないこの目標ですが、今年こそは達成してみせたいという思いを全員が強く持ち、新シーズンをスタートさせていきます。

この目標の達成には、150点以上の獲得が必須条件となると予想されます。可能性だけで

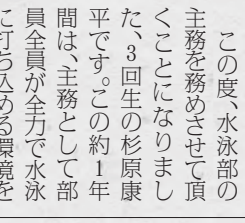


この度、水泳部の副将を務めさせて頂くことになりました。3回生の杉原康平です。副将としてチーム全体を俯瞰し、皆が思い切った水泳に打ち込むことが出来るような環境をつくっていきたくと考えています。

個人的な話にはなりますが、私は入学当初、100m自由形から53秒、200m自由形は1:57秒の選手でした。そんな選手でもインカレのA決勝に残るんだというのを見せたいという思いが、あります。逞しい背中、張れる存在になれるよう、残り1年を切った水泳人生を全力で泳ぎ抜きたいと思っています。

今年のチーム目標は昨シーズンと同様にインカレシード権獲得にありました。2015年以来達成することが出来ていないこの目標ですが、今年こそは達成してみせたいという思いを全員が強く持ち、新シーズンをスタートさせていきます。

この目標の達成には、150点以上の獲得が必須条件となると予想されます。可能性だけで



杉原 康平
主務

この度、水泳部の副将を務めさせて頂くことになりました。3回生の杉原康平です。副将としてチーム全体を俯瞰し、皆が思い切った水泳に打ち込むことが出来るような環境をつくっていきたくと考えています。

個人的な話にはなりますが、私は入学当初、100m自由形から53秒、200m自由形は1:57秒の選手でした。そんな選手でもインカレのA決勝に残るんだというのを見せたいという思いが、あります。逞しい背中、張れる存在になれるよう、残り1年を切った水泳人生を全力で泳ぎ抜きたいと思っています。

今年のチーム目標は昨シーズンと同様にインカレシード権獲得にありました。2015年以来達成することが出来ていないこの目標ですが、今年こそは達成してみせたいという思いを全員が強く持ち、新シーズンをスタートさせていきます。

この目標の達成には、150点以上の獲得が必須条件となると予想されます。可能性だけで

この度、水泳部の副将を務めさせて頂くことになりました。3回生の杉原康平です。副将としてチーム全体を俯瞰し、皆が思い切った水泳に打ち込むことが出来るような環境をつくっていきたくと考えています。

個人的な話にはなりますが、私は入学当初、100m自由形から53秒、200m自由形は1:57秒の選手でした。そんな選手でもインカレのA決勝に残るんだというのを見せたいという思いが、あります。逞しい背中、張れる存在になれるよう、残り1年を切った水泳人生を全力で泳ぎ抜きたいと思っています。

今年のチーム目標は昨シーズンと同様にインカレシード権獲得にありました。2015年以来達成することが出来ていないこの目標ですが、今年こそは達成してみせたいという思いを全員が強く持ち、新シーズンをスタートさせていきます。

この目標の達成には、150点以上の獲得が必須条件となると予想されます。可能性だけで

この度、水泳部の副将を務めさせて頂くことになりました。3回生の杉原康平です。副将としてチーム全体を俯瞰し、皆が思い切った水泳に打ち込むことが出来るような環境をつくっていきたくと考えています。

個人的な話にはなりますが、私は入学当初、100m自由形から53秒、200m自由形は1:57秒の選手でした。そんな選手でもインカレのA決勝に残るんだというのを見せたいという思いが、あります。逞しい背中、張れる存在になれるよう、残り1年を切った水泳人生を全力で泳ぎ抜きたいと思っています。

今年のチーム目標は昨シーズンと同様にインカレシード権獲得にありました。2015年以来達成することが出来ていないこの目標ですが、今年こそは達成してみせたいという思いを全員が強く持ち、新シーズンをスタートさせていきます。

この目標の達成には、150点以上の獲得が必須条件となると予想されます。可能性だけで